

平成23年度「輝けやまがた若者大賞」受賞者 一覧

※名簿の順番は団体・個人別に五十音順、敬称略

No.	団体名(代表者名)・氏名	主な活動内容等
団 体 (8)		
1	オトナプロジェクト (代表 田宮 真紀子) 【河北町】	20～30歳代の若者世代の学びの場やイベントの企画を通じた河北町を元気にする活動を定期的に行っている。この活動の副産物として参加者の中で3組の結婚カップルが生まれた。
2	おも白い森 (代表 渡邊 拓磨) 【小国町】	町教育委員会の呼びかけで集まった若者たちが、情報発信と地域資源を活用した「お花見イベント」など町内外の人が楽しめる交流イベントを企画し、活性化を図っている。
3	かぼちゃプロジェクト (代表 小関 新太郎) 【南陽市】	市青年育成事業参加をきっかけに、梨郷青年団所属の農業青年等が、農業を切り口に伝承野菜「土平かぼちゃ」が栽培されていたことをヒントに、「かぼちゃ」をテーマにした地域密着型のまちづくり活動を実施している。
4	チームツナミ&ねこじゃらし (代表 大井 拓磨&高橋 真衣子) 【鶴岡市・酒田市】	元庄内農業高校映画演劇部所属メンバーで構成する地域演劇サークル「チームツナミ」と東北公益文科大学演劇部「ねこじゃらし」は、スマトラ沖地震被災児の里親活動資金集めのため、国際的な視点をもったチャリティー公演を共同で企画・実施している。
5	東根市商工会青年部 (部長 植松 伸之) 【東根市】	若手後継者の育成と地域活性化のため、若者の結婚問題に積極的に取り組み、山形空港全体を活用した新たな出会いの場の創造を目的として「山形空港発 恋の浪漫飛行」事業を実施している。
6	ぷらっとほーむ (代表 滝口 克典・松井 愛) 【山形市】	“不登校”や“ひきこもり”等で悩む若者たちが安心して集まり、交流したり、学びあったりできる「居場所づくり」を目的として、一軒家を借りて気軽に訪れることができるフリースペースの運営を行っている。
7	文化継承団体 獅伝 (代表 古名 順二) 【白鷹町】	少子高齢化・過疎化などから、獅子舞の継続が困難な地域が出ている中、意欲ある若者たちが獅子舞を「伝統文化」、まちづくりの「小さなコミュニティー」とした目線で、地区を越えた獅子舞の担い手として活動している。
8	山形心体表現の会 (代表 渡邊 京子) 【山形市】	インクルーシブ（障害の有無、性別、年齢、国籍全てを含む意味）理念の下、多様性を重視し、共に生きる社会づくりを心体表現として、障害者も健常者とともに舞台芸術として作り上げる活動を行っている。
個 人 (3)		
9	高木 孝治 【山形市】	古民家再生をライフワークとして、設計事務所や大工として経験を積み「古民家ライフ」を設立し、日本人が伝承してきた技術・文化の伝承、本当の豊かさ、幸せなライフスタイルの実現に向けて古民家を活用した活動を行っている。
10	牧野 聡 【河北町】	農業大学校特別研修生として研修後に就農し、他地域出身等新規就農者支援を目的に、県内初の県域組織「新農業人ネットワーク山形」の設立に副会長（現在は会長）として関わった他、個人としてもNPOと連携した引きこもり支援等の活動も行っている。
11	矢口 優太 【最上町】	若者が「最上町に残りたい、戻ってきたい、自慢したい」と思えるような地域づくりのため、若者中心に実行委員会を設立し「最上ロックフェスティバル」を開催した他、「最上町観光協会青年部」設立等にも尽力し、最上町の魅力発信、若者の地域定着に関する活動を行っている。